

駅周りタイムトラベル 地域ドキュメンタリー上映会

共催：広島エイト倶楽部、広島市映像文化ライブラリー 協力：広島駅周辺地区まちづくり協議会、エキキタまちづくり会議

鑑賞料：無料

駅周辺の郷土史や再開発を題材にしたドキュメンタリーを、広島のアマチュア映像作家集団「広島エイト倶楽部」の作品群から特集します。変わりゆく南口を記録した『広島の玄関口新時代』『生まれ変わる愛友市場』、北口の歴史を江戸時代までさかのぼった『エキキタ今昔』、名物神社を掘り下げた『カープ神社2つ』、猿猴橋の復元を取材した作品など、いずれも貴重な映像7本を上映します。

■〈駅周り編〉(4作品・計72分)

4/21(火)～22(水)
14:30、18:30

『広島の玄関口新時代』2013年/15分/

制作：佐々木博光・星賀靖典・田中隆正

駅前の再開発計画を見渡すとともに、南口Bブロックの取り壊しなどを撮影した作品。



【広島の玄関口新時代】

『生まれ変わる愛友市場』2014年/19分/

制作：佐々木博光・星賀靖典・上田道明

南口Cブロックの再開発と愛友市場の移り変わりについて、地元の店舗などを取材した。



【生まれ変わる愛友市場】

『エキキタ今昔』2015年/23分/

制作：佐々木博光・星賀靖典・田中隆正・上田道明

北口の歴史をさかのぼり、江戸時代の綿畑や明治以降の東練兵場について証言を掘り起こした。



【エキキタ今昔】

『カープ神社2つ』2022年/15分/

制作：佐々木博光・星賀靖典・上田道明

“カープ神社”として知られる友元神社と愛宕神社の由来を辿り、駅前の変遷を捉えた。



【カープ神社2つ】

■〈猿猴橋編〉(3作品・計81分)

4/23(木) 14:30、18:30

『水の都ひろしま橋物語』2013年/25分/広島エイト倶楽部共同制作

「広島ー」とうたわれた猿猴橋をはじめ、市内各地の橋についての逸話をまとめた。



【水の都ひろしま橋物語】

『蘇る猿猴橋』

2016年/15分/広島エイト倶楽部共同制作

猿猴橋の完成式典を撮影し、橋の復元を祝う作品。



【蘇る猿猴橋】

『猿猴橋復元』

2016年/41分/広島エイト倶楽部共同制作

猿猴橋復元の会への取材を含めて、復元のプロセスを振り返る。



【猿猴橋復元】

*上映作品の中には、映像・音声が良好ではないものがあります。

【イベント】4/21(火) 14:30 *上映前に贈呈式あり *上映後トークあり(約30分)

ゲスト/佐々木博光(広島エイト倶楽部)、中村興夫(松原町町内会会長)、山城政之(愛宕神社氏子代表)、久保田峻司(広島東照宮権禰宣)

『被爆80年 ヒロシマ ネバーギブアップ』上映会

共催：広島エイト倶楽部、広島市映像文化ライブラリー

4/1(水) 11:00 4/2(木) 11:00 *上映前に贈呈式あり、14:30 鑑賞料：無料

映像文化ライブラリーのオープニング記念イベントの一環として、被爆80年の節目に制作されたドキュメンタリー『被爆80年 ヒロシマ ネバーギブアップ』を上映し、ヒロシマの心を発信します。この作品は、広島のアマチュア映像作家集団「広島エイト倶楽部」による共同制作で作られ、このたび館に御寄贈いただきました。

■『被爆80年 ヒロシマ ネバーギブアップ』

2025年/25分/広島エイト倶楽部共同制作

被爆80年を迎えた2025年、広島電鉄が広島駅に乗り入れて駅前再開発が進んでいる。2024年にノーベル平和賞を受賞した日本被団協の活動に多大な貢献をした、故・坪井直氏(1925～2021)の生前インタビュー映像によって、「ネバーギブアップ」をモットーに核兵器廃絶を訴える力強い信念を伝える。



【被爆80年 ヒロシマ ネバーギブアップ】

広島市映像文化ライブラリー

〒732-0822 広島市南区松原町9-1 エールエールHIROSHIMA10階 TEL:082-298-0551 FAX:082-298-0552

交通情報：JR広島駅・広島電鉄広島駅・広島駅バス停から徒歩約5分 専用駐車場はありません

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間 月曜日～金曜日 10時～21時 土曜日、日曜日、祝日、8月6日 10時～18時

■休館日 第2月曜日(祝日は開館)、12月29日～1月4日

